

「2007年3月から2018年4月までに川崎医科大学附属病院の救急外来を受診された患者さんへのお知らせ」

研究課題名「偶発性低体温症の予後と予後因子の検討」に関する研究について

2007年3月から2018年4月までに、川崎医科大学附属病院で救急外来に受診または救急搬送された患者さんの中で偶発性低体温症（深部体温 35.0℃以下）について、性別や既往症、発見現場の状況、血液検査所見、予後などを検討することで、今後の治療を行われる偶発性低体温症患者の予後改善の因子を検討することを倫理委員会により承認を得ました。

本研究の目的は、今後治療を行われる偶発性低体温症患者の予後改善の因子を検討することです。この研究結果は、学会演題や学術論文として発表する予定です。本研究は術後経過を再評価し、カルテからのデータのみを収集する疫学研究であり、患者さんの個人情報をも抹消した状態で解析します。従って、患者さんの個人情報が外部に漏れる心配は全くありません。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断のひずみが起こりかねない状態を利益相反といいます。本研究において患者の金銭的負担は無く、また謝礼も発生しません。本研究は研究責任者の教員研究費を使用するため、すべての研究者において、利益相反の状態にはなりません。

研究成果に関しては、学会報告や論文作成を行い、科学と社会への貢献を行います。この際、被験者個人が特定できないように格段の配慮を行います。参加を希望されない方や疑問のある方は、遠慮なく下記の問い合わせ先にご相談下さい。

本研究のお問い合わせ先

担当者:救急医学 臨床助教 上野 太輔

e-mail:daisuke0111@hotmail.co.jp

TEL:086-462-1111(内線 26503) FAX:086-462-1199